

平成25年度 向日市競輪対策協議会議事録

開催日時 平成26年1月30日（木） 午前10時30分～11時30分

開催場所 向日市民会館 第2会議室

出席委員 久嶋市長（会長）、兒玉副市長（副会長）、嶋田区長会長・向日区長、中村寺戸町連合自治会長、原田向日台連合自治会長、高橋向日市商工会会長、安田府議会議員、磯野市議会議長、丹野市議会副議長、常盤競輪場対策特別委員会委員長、長尾競輪場対策特別委員会副委員長、栗山山城広域振興局副局長、岸本自転車競技事務所長、大石乙訓土木事務所長、井本向日町警察署地域課長（署長代理）、西村京都府総務部副部長、辻村京都府総務調整課長

欠席者 高橋小・中校長会会長

事務局

（向日市）

酒井市民生活部長、大野建設産業部長、物部総務部長 辻野建設産業部次長兼都市計画課長、野田企画調整課長、長谷川企画調整課長補佐、今西市民生活部次長兼防災安全課長、宮崎防災安全係長、石田主査、細見主査

関係職員

（京都府）

西野自転車競技事務所次長、池部同事務所庶務課長、河野総務調整課主査

傍聴者 2名

議 題 (1) 平成24年度競輪開催状況等について
(2) その他

内 容

自転車競技
事務所長

議題（1）平成24年度競輪開催状況等について説明

P1 「入場人員及び売上額推移」
「本場開催」・向日町競輪場でレースを行うもの

「場外開催」・・他の競輪場で開催されているレースの臨時車券売場となっている場合の状況を示したもの

本場開催時のピーク

平成2年度 来場：57万6千人 売上：356億円

↓

平成24年度 来場：11万6千人 売上：105億円

P2 「駐車場の利用状況推移」

- 駅からの無料送迎バスのほか、車で来場するファンのために1,208台の駐車スペースを確保している。

平成24年度の実績では

- ・本場開催 平均486台/日
- ・場外開催 平均363台/日 となっている。

P3 「平成24年度入場人員・売上額・駐車状況」

- 9月末から10月始めに平安賞の開催があり入場人員・売上額が多くなっている。
- 開催日程については、全国で日程調整を行い、重ならないようにするため、毎年同じ月に同じ日数を開催できるとは限らない。

P4 「施設利用状況」

- 平成22年度から本場開催日以外も卓球場を開放したため、利用日数及び利用者数が増加している。

そ の 他

開催日数について

- 平成25年度は1開催削減で55日の開催となっている。
- 平成26年度はさらに1開催削減し52日の開催予定である。

サマータイム競輪について

- インターネット投票等による収益改善を目的に行っている。

ガールズケイリンについて

- 平成25年のサマータイム競輪時に1レース開催をした。
男子の若手のレースよりも売上げが上がる時がある。

その他

- 平成25年の平安賞は9月21日から24日に開催した。その際には、東北震災復興支援レースを1レースを追加で実施した。
- 3月にバンクの修繕工事を行う。

会長 自転車競技事務所から説明がありました、平成24年度競輪開催状況等について、ご質問がございましたらお願いします。

委員 まず、競輪場の存廃について、数年前と認識が異なっているように感じるが現状はどうなのか。

次に、競輪場周辺のトタン壁の修繕について競輪場開設当時から変わらないように思うが、修繕の予定はあるのか。

3点目に、他の競輪場では、競輪場内の食堂が集約されているところがあるが、向日町競輪場ではできないのか。

自転車競技
事務所長

競輪場の存廃については、現場としては、事業を行う以上は、全力で取り組んでいきたい。

施設の修繕については、限られた収益の中で、まずは、安全面で必要なものから修繕をしている。次に、集客力を向上できるような部分の修繕を行うことになる。ご意見は今後留意したい。

向日町競輪場の食堂については、多数の店舗が営業をされており、すぐに集約することは難しい。ただし、より多くのお客様が来場していただけるために、どのような施設がいいのか検討していきたい。

京都府
西村副部長

平成23年に府議会で、知事が「中長期的な観点から見れば、事業の存続は非常に難しい」と発言をさせていただいており、老朽化が進んでいる施設の大規模改修等を行う余力はないため、どこかの段階で判断をしていきたいと考えている。

委員 まず、安全対策について、競輪場周辺のガードマンの配置につ

いては、以前より人数が少なくなっていると思うが、実際のガードマンの配置の状況はどうなっているのか。

次に府から市への交付金について、競輪場の固定資産税相当額を考えると、現在の交付金（４，０００万円）では足りないのではないかと。黒字がでた場合に上乗せする等の対応はできないのか。

３点目に施設の耐震化については、一部の施設が閉鎖した状態になっていると思うが、安心・安全の観点から、施設の耐震化の調査や改修などは行っているのか。

自転車競技
事務 所 長

ガードマンについては、基本的な人数の変更は行っていない。配置場所については、駐車場前、市役所前、駅前、市民会館前、向日神社へ向かう通学路等に配置している。ただし、経営改善のため、見直しを行う上で、地域にご迷惑をかけない範囲で削減をさせていただいている。

交付金については、黒字になったといっても、経費削減を行い何とか黒字を確保している現状であるため、ご理解いただきたい。

耐震化については、競輪を開催していくに当たり、耐震調査の上必要な施設の耐震化は実施済みであり、安全上の問題はない。

なお、来場者が減少したことから、一部の施設を閉鎖しているが、閉鎖している施設も安全上の問題はない。

委 員

施設の改修について今後どのような計画があるのか。

自転車競技
事務 所 長

具体的な計画は立てていないが、できるかぎり利用しやすいように改修していきたい。まずは安全面を第一に改修をしていきたい。

委 員

災害が発生した場合、競輪場は向日市内で、２番目に大きい避難所になっているが、夜間に災害が発生した場合に、どの入口が開放されているか、地元で情報が無いので情報提供をお願いしたい。学校などは校門の鍵を自治会に預けていただいているが、競輪場も同じような対応は可能なのか。

自転車競技

事務所長 向日市と具体的な話ができていないが、ご意見をいただいたので、今後、向日市と協議させていただきたい。

副会長 委員からのご意見を踏まえ、市民の方が安心していただけるように様々なことを検討していきたい。

委員 競輪場の周辺の道路は通学路となっていることもあり、競輪場の外側のトタン壁について、市の塵芥車のような小・中学生から募集したデザインを描くことはできないのか。

自転車競技事務所長 検討させていただく。他の競輪場で、デザイン科の学生等が場内ペイントしているところもある。

会長 意見も出尽くしたようでございます。京都府におかれましては、この場で出ました意見ご要望を十分ご検討いただき、今後の競輪運営に当たって頂きたいと思っております。

それでは、本日の会議を終了させていただきます。皆様方におかれましては、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。ありがとうございました。